



【講師用資料】 営業秘密の保護

【1ページ】

コンプライアンス研修用資料 1

法令順守

営業秘密の保護

【研修について】

- ・本研修の目安時間は、15分間です。
- ・講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。
(勝手に本資料を読み進めないでください。)

進行シナリオ

1 タイトルと研修の注意事項(以下)を話す。

本日は「営業秘密の保護」について、研修を行います。
研修の時間は15分程度ですので、学習したことをしっかり覚えるようにしてください。
また、お配りした資料は、私の指示に従って、めくってください。勝手にめくって
読み進めないようお願いします。
では、資料を1枚めくって、2ページを見てください。

2 資料を一枚めくる。(2ページに移る)

2

【本研修の目的】

- ・隣の人や、後ろの人と意見交換をしながら、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。

進行シナリオ

1 研修の目的(以下)を話す。

この研修は、両隣や後ろの人と意見を交換しながら進めています。研修中には、いくつかの質問があります。正解・間違いは問いませんので、周りの人と積極的に意見交換してください。
では、3ページに移ってください。

2 3ページに移る。

3

営業秘密の保護

Aさんは顧客管理システムのメンテナンスを担当しています。会社の待遇に不満を抱えていたAさんは、今扱っている顧客データを他社に持ち込めば良い条件で転職できるのでは、と考えました。そこで、顧客データを自宅のPCに転送。しかし、実際にはAさんが他社に持ち込む前に、内部調査によって発覚しました。

Q1 Aさんが他社に持ち込んだ場合、会社はどのような損害を被るでしょうか？



意見がなかなか出ない場合は、「テレビや新聞などで、このような事件について聞いたことはありませんか？」など、発言をしやすい問い合わせを行ってください。

進行シナリオ

1 シーンを話し、1つ目の問題を出す。 (以下を話す)

営業秘密の保護。
Aさんは顧客管理システムのメンテナンスを担当しています。会社の待遇に不満を抱えていたAさんは、今扱っている顧客データを他社に持ち込めば良い条件で転職できるのでは、と考えました。そこで、顧客データを自宅のPCに転送。しかし、実際にはAさんが他社に持ち込む前に、内部調査によって発覚しました。

では、皆さんに1つ目の質問をします。
Aさんが他社に持ち込んだ場合、会社はどのような損害を被るでしょうか？

1分程度で、周りの人と意見を出しあってください。それでは始めてください。

2 1分程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう。)

いろいろな意見が出たようですね。
では、○○さん、会社はどのような損害を被るかを発表してください。

3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、4ページで解答を確認してみましょう。

4 資料を一枚めくる。(4ページに移る)

営業秘密の保護 4

A 1

- 競合他社に顧客を奪われる
- 会社が社会的信用を失い、価値が低下する
- 顧客から損害賠償を求められる



顧客データ以外にも、企業が独自に持つ技術・ノウハウ・経営情報などは、競合他社に秘密にしておくことで、優位な競争力を維持することができます。これらの秘密情報が漏えいしてしまうと、競争力を失い、本来得られるはずの利益が奪われてしまいます。

進行シナリオ

1 解答を話す。(以下を話す)

顧客データが社外に漏えいすると、競合他社に顧客を奪われたり、会社の社会的信用が失われて価値が低下したり、顧客からは損害賠償を求められたりといった事態が考えられます。

顧客データ以外にも、企業が独自に持つ技術・ノウハウ・経営情報などは、競合他社に秘密にしておくことで、優位な競争力を維持することができます。これらの秘密情報が漏えいしてしまうと、競争力を失い、本来得られるはずの利益が奪われてしまいます。

では、5ページに移ってください。

2 5ページに移る。

5

Q2

秘密情報のうち、いくつかの要件を満たすものは「営業秘密」として不正競争防止法で保護されます。どのような要件が必要でしょうか？

意見がなかなか出ない場合は、「誰もが『この情報は秘密として扱わなければならない』と納得できることが必要ですよね」など、発言をしやすい問い合わせを行ってください。

進行シナリオ

1 2つ目の問題を出す。(以下を話す)

では、皆さんに2つ目の質問をします。

秘密情報のうち、いくつかの要件を満たすものは「営業秘密」として不正競争防止法で保護されます。どのような要件が必要でしょうか？

先ほどと同じように、30秒程度で、周りの人と意見を出しあってください。それでは始めてください。

2 30秒程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう)

いろいろな意見が出たようですね。

では、〇〇さん、どのような要件が必要かを発表してください。

3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、6ページで解答を確認してみましょう。

4 資料を一枚めくる。(6ページに移る)

6

営業秘密の保護

A
2 下記の(1)～(3)を満たす情報が「営業秘密」にあたります

(1)秘密管理性
当該情報にアクセスした者に当該情報が営業秘密であることを認識できるようにしていることや、当該情報にアクセスできる者が限定されていること

(2)有用性
事業活動に利用されることで、コスト削減、経営効率の改善などに役立つ情報であること

(3)非公知性
保有者の管理下以外では、一般に入手できない情報であること

 不正競争防止法に違反すると、個人は10年以下の拘禁刑もしくは2000万円(海外重罰3000万円)以下の罰金または併科、企業は5億円(海外重罰10億円)以下の罰金が科せられるとともに、個人・法人ともに犯罪収益が没収されることがあります。

進行シナリオ

1 解答を話す。(以下を話す)

「営業秘密」として不正競争防止法で保護される条件は3つあります。

(1)秘密管理性

当該情報にアクセスした者に当該情報が営業秘密であることを認識できるようにしていることや、当該情報にアクセスできる者が限定されていること。

(2)有用性

事業活動に利用されることで、コスト削減、経営効率の改善などに役立つ情報であること。

(3)非公知性

保有者の管理下以外では、一般に入手できない情報であること。

これら3つの条件を同時に満たす場合、「営業秘密」として不正競争防止法で保護されます。

不正競争防止法に違反すると、個人は10年以下の拘禁刑もしくは2000万円以下の罰金または併科、企業は5億円以下の罰金が科せられるとともに、個人・法人ともに犯罪収益が没収されることがあります。

では、7ページに移ってください。

2 7ページに移る。

7

営業秘密の保護

Q3

私たちが業務で関わる情報のうち、
営業秘密に該当するものには、
どのようなものがあるでしょうか？

意見がなかなか出ない場合は、「営業上、他社に漏れてしまうと困る情報には、どのようなものがありますか？」など、発言をしやすい問い合わせを行ってください。

進行シナリオ

1 3つ目の問題を出す。(以下を話す)

続いて、皆さんに3つ目の質問をします。
私たちが業務で関わる情報のうち、営業秘密に該当するものには、どのようなものがあるでしょうか？

30秒程度で、考えてみてください。

2 30秒程度待ち、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、8ページで解答を確認してみましょう。

3 資料を一枚めくる。(8ページに移る)

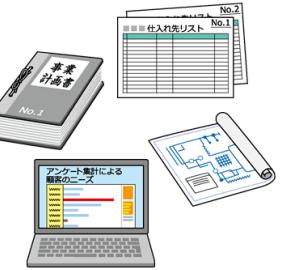
8

営業秘密の保護

A 3 例えば、下記のような情報が挙げられます

経営戦略関連	顧客関連	営業関連
経営計画	顧客の個人情報	原価情報
事業計画	顧客ニーズ	仕入先リスト

技術関連	人事関連
技術ノウハウ	従業員の個人情報
設計書	人事評価



進行シナリオ

1 解答を話す。(以下を話す)

営業秘密には例えば、
経営戦略に関わる経営計画や事業計画、
顧客管理に関わる顧客の個人情報や顧客ニーズ、
営業実務に関わる原価情報や仕入先リスト、
技術に関わるノウハウや設計書、
人事に係る従業員の個人情報や人事評価、
といったものが考えられます。

では、9ページに移ってください。

2 9ページに移る。

営業秘密の保護 9

Q4

営業秘密を適切に管理するには
どのようにすればよいでしょうか？

意見がなかなか出ない場合は、「情報漏えいを防ぐために
心掛けていることは何ですか？」など、発言をしやすい問
いかけを行ってください。

進行シナリオ

1 4つ目の問題を出す。(以下を話す)

では、皆さんに最後の質問をします。
営業秘密を適切に管理するには、どのようにすればよいでしょうか？
30秒程度で、考えてみてください。周りの人と意見を出しあってもかまいません。
それでは始めてください。

2 30秒程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう)

いろいろな意見が出たようですね。
では、〇〇さん、どのようにすればよいかを発表してください。

3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、10ページで解答を確認して
みましょう。

4 資料を一枚めくる。(10ページに移る)

10

営業秘密の保護

A 4

- 自社の「営業秘密」には、どのようなものがあるかを理解する
- 管理ルールを周知徹底する
 - 適切なアクセス権の付与・管理
 - 秘密情報が記された会議資料等の適切な回収
 - 社外へのメール送信・webアクセスの制限
 - 職場の整理整頓
 - 秘密情報であることの表示 など

営業秘密は、会社の大切な財産です。
不正な持ち出しを防ぎましょう。

進行シナリオ

1 解答を話す。(以下を話す)

まず、自社の「営業秘密」には、どのようなものがあるかを理解し、自身の業務とどのような関わりがあるのかについて考えておきましょう。

そして、定められた管理ルールを周知徹底しなければなりません。
管理ルールには、作成する資料に秘密情報が含まれる場合には、秘密情報であることを表示したり、使用後には適切に回収することや、職場の整理整頓など、身近なものもあります。

2 まとめの言葉を話す。(以下を話す)

営業秘密は、会社の大切な財産です。
不正な持ち出しを防ぎましょう。

では、11ページに移ってください。

3 11ページに移る。

営業秘密の保護 11

会社と働く人たち、その家族を守るのは
あなたのコンプライアンス行動です。

お疲れ様でした。

進行シナリオ

1 締めの言葉を話す。(以下を話す)

会社と働く人たち、その家族を守るのは、あなたのコンプライアンス行動です。

以上で、本研修は終わりです。お疲れ様でした。